

# 人権教育通信【WAD】⑧号

## ～We Are Different～

文責：宮野

今回の情報モラル学習では「情報の記録性、公開性の重大さ」という動画を視聴しました。「肖像権」という言葉を聞いたことがある人は多いと思いますが、「肖像権の侵害」をしてしまうとその後どうなるのか、について知らない人が多いかと思います。以下、生徒の感想を一部ご紹介します。ご家庭でも今回の学習内容についてや、情報端末の利用について、話題にしていただけると有難いです。

### 生徒の感想 抜粋

○インターネットで、一度上げた画像などは多くの人に広まって消しようがなくなったり、一生残ったりするものなので画像を載せることがどんなことなのかしっかり考えたいと思いました。また、ほかの人を勝手に巻き込んでしまわないように気を付けたいです。

○改めて、SNS に人の写真や、撮影禁止の場所・物の写真は投稿しないようにしようと思いました。

○SNS には一度投稿したら、消すことができないので投稿内容は改めて確認する必要があると分かった。そして内容によっては自分だけじゃなく関係のない周りの人まで迷惑が掛かってしまうので気を付けようと思う。

○私は友達と遊んでいるときや、いろんなときに写真を撮ったりするので、写真を撮るときは写真撮っていい場所か確認してから写真を撮ろうと思います。

○一部の友達が見て、その友達が拡散して…の繰り返しで一回投稿したらずっと残ってしまうことが分かった。

○今回の情報モラルで私はインターネットでは写真や書き込みを簡単にしてはいけないと思いました。また、インターネットはときに人間関係を壊すということを忘れないようにしたいです。

○インターネットに投稿するものには気を付けないと、知らないうちに拡散されていたり保存されていたりして、削除しても本当に削除できていることはないということを知りました。

○相手が嫌がることは書かない。肖像権などに引っかかる可能性があるので今後投稿するときは今日の話を思い出しながら気を付けて投稿しようと思う。

○勝手に私の写真を「顔にモザイクかければいいうる」と言って SNS に投稿しようとしている人がいて迷惑です。私も絶対にそういうことをする人にならないように気を付けます。

○自分も知らない間にやってはいけないことをしているかもしれないのでネットを利用するときは気をつけたい。

○自分が送ったメッセージを相手が勘違いして内容をスクショして、それをその人の友達に送っていたから、次はちゃんと相手に伝わる文で送りたいと思った。

○自分が気を付けていても、誰かに拡散される危険性があるのがとても怖いと思いました。自分だけでなく、周りの人達と一緒に情報モラルについて考えていきたいです。

ご家庭でも、「スマホの使い方」について話題にしていただけたらと思います。ご家庭での声掛けが、「今すぐ」ではないかもしれませんが、子どもたちの「未来」を変えていくと私は思います。

## いのちの尊さを考える週間(9月10日～16日)

日向中学校では、9月10日～16日の一週間を、いのちの尊さについて考える週間とし、朝8:00～人権啓発推進委員が考えた短いポエムの朗読を行いました。以下、その一部を紹介します。

○いのちが線路を走る。いやなトンネルに引き込まれても負けないよ。

私のいのちは東北新幹線、はやぶさ。

○祖母へ。最後の言葉を伝えられず後悔した。人はいついなくなるかわからない。だから私は今日も「ありがとう」を言う。

○死にたくなるで我慢なくていい。周りに向ける優しさを、今度は自分に向けてみて。

○後悔しないように。この言葉は曾祖母が私に言ってくれた。今日も、この言葉を大切に、1分1秒を生きよう。



期間中、毎朝朗読をしてくれた人権啓発推進委員(WAD)の二人【上写真】